

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中央理美容専門学校
設置者名	学校法人 全国理美容中央学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
職業実践専門課程	理容通常学科	夜・通信	1830 時間	160 時間	
	美容通常学科	夜・通信	1830 時間	160 時間	
専門課程	美容修得者学科	夜・通信	1020 時間	80 時間	
	理容修得者学科	夜・通信	1020 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg1608.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中央理美容専門学校
設置者名	学校法人 全国理美容中央学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

閲覧用資料として受付に配置また学校HPにて公開
<http://www.chic.ac.jp/pg1609.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理美容メーカー役員	令和3年6月1日～令和6年5月31日	組織運営体制への チェック機能・学外 からの学識経験者 としての知見
非常勤	理容室経営者	令和3年6月1日～令和6年5月31日	組織運営体制への チェック機能・学外 からの学識経験者 としての知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中央理美容専門学校
設置者名	学校法人 全国理美容中央学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度3月、教育者会議(外部講師を交えた教育内容検討会)により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。</p> <p>また、授業科目名、担当教員名、授業形態、授業時間数(単位数)、授業の概要、到達すべき目標、授業内容・計画、成績評価の方法と基準、教科書等に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は1~3月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。3月下旬に翌年度分のシラバスを閲覧用資料としてファイリングし、受付に設置。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>閲覧用資料として受付に配置また学校HPにて公開</p> <p>http://www.chic.ac.jp/pg3377.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の出席状況、各種試験、課題報告等により総合的に成績評価を行っている。

(参考)

(試験・成績評価・単位認定)

第18条 本校の試験・成績評価・単位認定等については、次のとおりとする。

1. 試験は前期、後期それぞれ1回実施する。
2. 各授業科目の成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格として単位認定する。
A: 100~90、B: 89~80、C: 79~70、D: 69~ (不合格)
3. 各授業科目の評価は出席状況、各種試験、課題報告ならびに必要と認められる学習作業の結果を総合して行う。
4. 試験結果は70点以上の得点をもって合格とする。試験結果が70点未満の場合は追再試験を行い、再度70点未満の場合は再々試験を行う。試験が受験できなかった場合は追試験を行う。
5. 本試験を認定欠課(公欠)した場合の追試験は実点とし、欠席した場合の追試験は点数の8割を成績とする。なお、追試験を正当な理由なく欠席した場合は、原則0点とする。
6. 実技科目においては、各科・科目ごとに検定試験を実施するが、不合格の場合は補習を行い再度検定試験を実施する。
7. 海外研修旅行(2単位)、1年次研修旅行・新人研修会(1単位)、インターンシップ、その他行事内容、出席時間数等を考慮して単位認定する。やむを得ず欠席をした場合は、後日補講を行う。

(卒業基準)

第20条 本校の卒業基準については、次のとおりとする。

1. 理容師・美容師養成施設に定める全科目を履修し単位を全て取得する。
2. 卒業認定実技及び学科試験に合格する。
3. 学費等が全納されている。
4. 上記1~3の条件を満たし、卒業認定会議によって認定される

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学内の教員用内規(成績判定会議規定)において、GPA(Grande Point Average)を導入し、学内の成績評価として使用している。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。

当校では、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。

学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験等)によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも評価点数により100~90をA、89~80をB、79~70をC、69~60をDとして、成績が通知される。各授業の成績評価を規定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績はA(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)に換算する。GPAは(Aの授業数×4+Bの授業数×3+Cの授業数×2+Dの授業数×1)の合計を、各学生が履修済みの総授業数で除した数として求めることによって算出する。成績評価方法については、内規の内容を閲覧用資料としてファイリングし、受付に設置。入学時オリエンテーションで入学生等に通知している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg1610.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>中央理美容専門学校は理容師・美容師国家資格の取得とともに、社会人としてのマナーを身に付け、実践的な技能や知識を学び、感性を高め、理容・美容業界で活躍できる人材を養成することを指導方針としている。</p> <p>卒業要件については、学校が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細については学則をはじめ、入学の手引き等に記載している。</p> <p>当校では学則の一部を閲覧用資料としてファイリングし、受付に設置している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg1611.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中央理美容専門学校
設置者名	学校法人 全国理美容中央学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.chic.ac.jp/pg1615.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.chic.ac.jp/pg1613.html
財産目録	http://www.chic.ac.jp/pg1616.html
事業報告書	http://www.chic.ac.jp/pg1612.html
監事による監査報告（書）	http://www.chic.ac.jp/pg1617.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程	理容通常学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	570 単位時間/単位	単位時間/単位	1440 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76人		49人	人	4人	26人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で適宜小テスト（問題演習）を実施し、学生の習熟状況の把握を行っている。また、随時担当教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	6人 (66%)	3人 (33%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
理容店（マキシムナカイ、BARBER KAMITO、ヘアーサロンコバリ）			
（就職指導内容）			
合宿セミナーでの就職指導、就職マナー研修、合同企業説明会、インターンシップ、個人面談 等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ネイリスト検定、全理連ヘアカウンセラー、色彩士検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	1人	3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとり、適宜個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、保護者との連携を密にとり、退学防止のために学校・保護者が一丸となって取り組んでいる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程	美容通常学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	570 単位時間/単位	単位時間/単位	1440 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76人		52人	人	5人	23人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で適宜小テスト（問題演習）を実施し、学生の習熟状況の把握を行っている。また、随時担当教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	18人 (66%)	9人 (33%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
美容店（THEATRE、Ash、PEEK-A-B00等）			
（就職指導内容）			
合宿セミナーでの就職指導、就職マナー研修、合同企業説明会、インターンシップ、個人面談等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ネイリスト検定、ジェルネイル検定、色彩士検定等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	11人	16%
(中途退学の主な理由) 進路変更、コロナ禍における精神の不調、経済的事情等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとり、適宜個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、保護者との連携を密にとり、退学防止のために学校・保護者が一丸となって取り組んでいる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		専門課程	美容修得者学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1020 単位時間/単位	120 単位時間/単位	単位時間/単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
38人		18人	人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で適宜小テスト（問題演習）を実施し、学生の習熟状況の把握を行っている。 また、随時担当教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 理容店・美容店（コムグループ、ヘアセキグチ、メンズサロンエクシア等）			
（就職指導内容） 合宿セミナーでの就職指導、就職マナー研修、合同企業説明会、インターンシップ、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 全理連ヘアカウンセラー、ビューティーコーディネーター等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとり、適宜個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、保護者との連携を密にとり、退学防止のために学校・保護者が一丸となって取り組んでいる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	理容修得者学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1020 単位時間/単位	120 単位時間/単位	単位時間/単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
38人		6人	人	5人	2人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で適宜小テスト（問題演習）を実施し、学生の習熟状況の把握を行っている。 また、随時担当教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (%)	10人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 理容店・美容店（hair lounge nico、SOL HAIR等）			
（就職指導内容） 合宿セミナーでの就職指導、就職マナー研修、合同企業説明会、インターンシップ、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビューティーコーディネーター、ジェルネイル検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任制をとり、適宜個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、保護者との連携を密にとり、退学防止のために学校・保護者が一丸となって取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容通常学科	150,000 円	396,000 円	570,000 円	実習費、施設維持費
美容通常学科	150,000 円	396,000 円	570,000 円	実習費、施設維持費
美容修得者学科	150,000 円	396,000 円	510,000 円	実習費、施設維持費
理容修得者学科	150,000 円	396,000 円	510,000 円	実習費、施設維持費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg1619.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係団体、卒業生、保護者、関係企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
後援会会長	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係団体
同窓会会長	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係団体
PTA 会長	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係団体
企業コンサルティング	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係企業
サロン	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係企業
サロン	2021. 4. 1. ~2024. 3. 31	関係企業
保護者	2023. 4. 1. ~2024. 3. 31	
保護者	2023. 4. 1. ~2024. 3. 31	

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg1618.html
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 閲覧用資料として受付に配置また学校 HP にて公開 http://www.chic.ac.jp/pg3799.html
